

# 横浜市感染症発生動向調査報告(令和3年5月)

## 《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告数が多い状態が続いています。
- RSウイルス感染症が増加しており、今後の動向に注意が必要です。
- 梅毒の報告が続いています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈5月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	7件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
レジオネラ症	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
アメーバ赤痢	1件	梅毒	9件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2件	破傷風	1件
急性脳炎	1件	-	-

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157が2件、O91が1件(無症状病原体保有者)、O8が1件(無症状病原体保有者)、O不明が3件(うち2件が無症状病原体保有者)報告されました。
- 2 E型肝炎: 2件(いずれも無症状病原体保有者)の報告がありました。感染経路等不明です。
- 3 レジオネラ症: 肺炎型3件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 4 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 5 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 2件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 6 急性脳炎: 10歳未満の報告が1件(病原体はHSV-2、垂直感染疑い)ありました。
- 7 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: G群1件の報告がありました。飛沫感染が推定されています。
- 8 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): いずれも男性で、AIDSが1件(感染経路等不明)、無症状病原体保有者2件(性的接触(同性間1件、詳細不明1件)による)報告がありました。
- 9 侵襲性肺炎球菌感染症: 20歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)、70歳代の報告が2件(いずれもワクチン接種歴無)ありました。
- 10 梅毒: 無症状病原体保有者1件、早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期6件の報告がありました。男性7件、女性2件で、推定感染経路は、性的接触8件(異性間7件、性別不詳1件)、不明1件でした。
- 11 破傷風: 80歳代の報告が1件(ワクチン接種歴無)ありました。

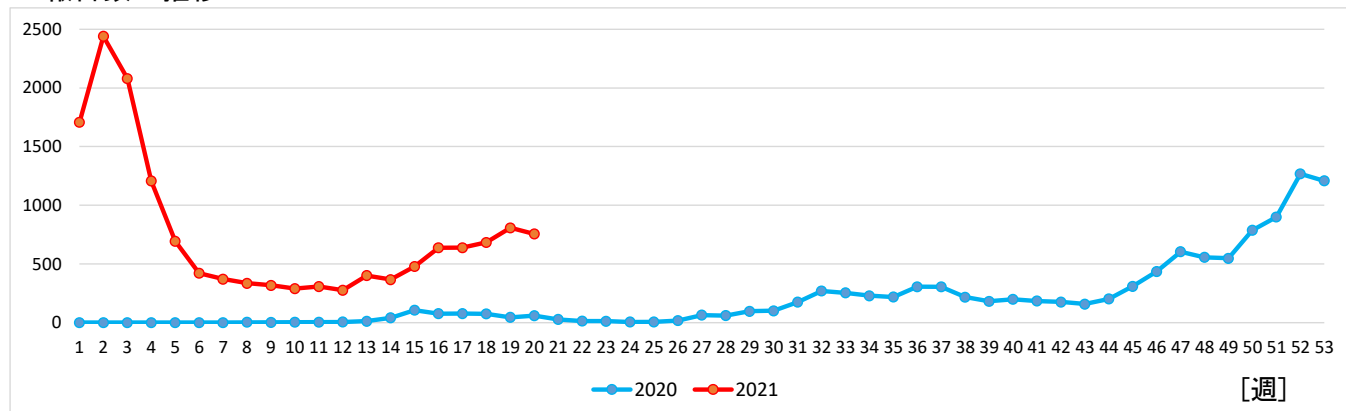
### ◇ 新型コロナウイルス感染症(報道発表ベース)

第16週～第20週に横浜市から報道発表のありました症例は3,525件でした。

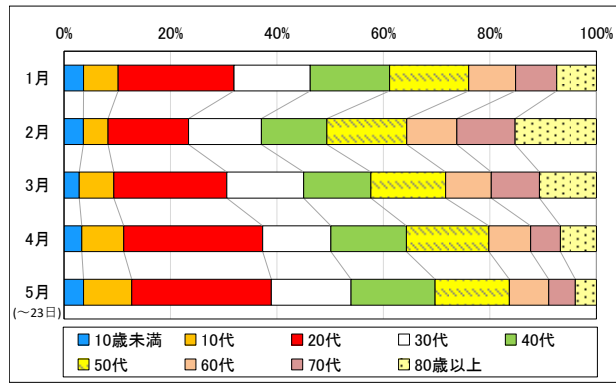
#### ◆ 横浜市内の陽性患者の発生状況データ・相談件数

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/coronavirus/corona-data.html>

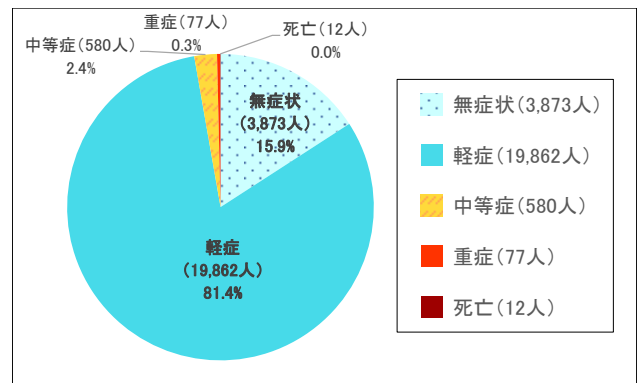
### 1 報告数の推移



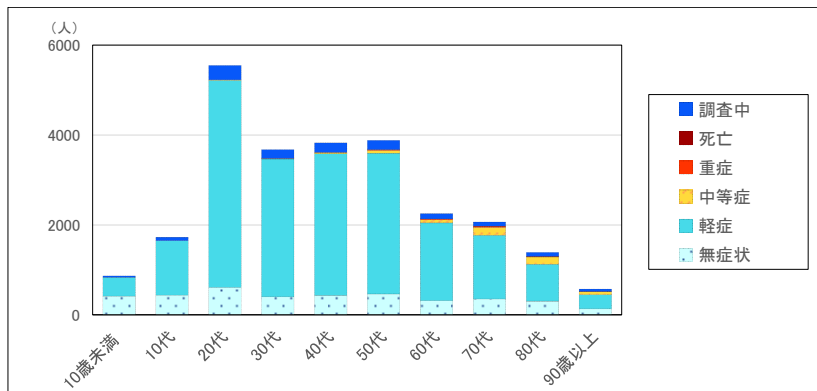
## 2 年齢別割合



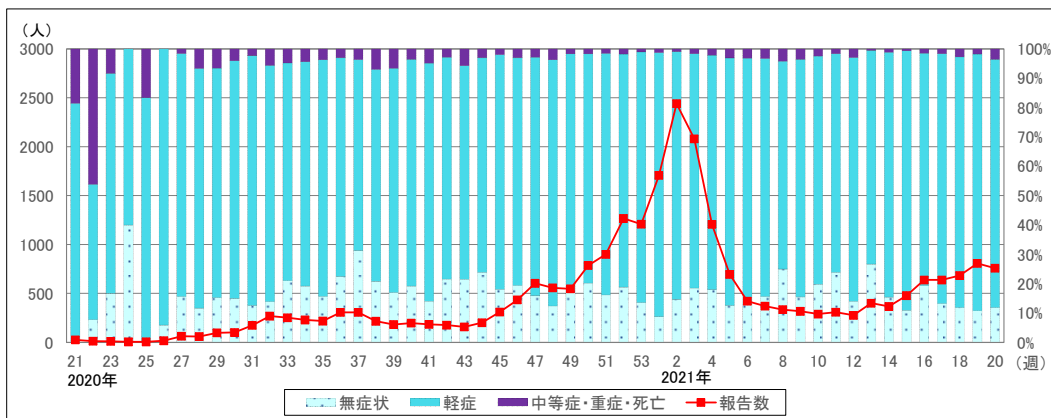
## 3 陽性確定時の症状の割合



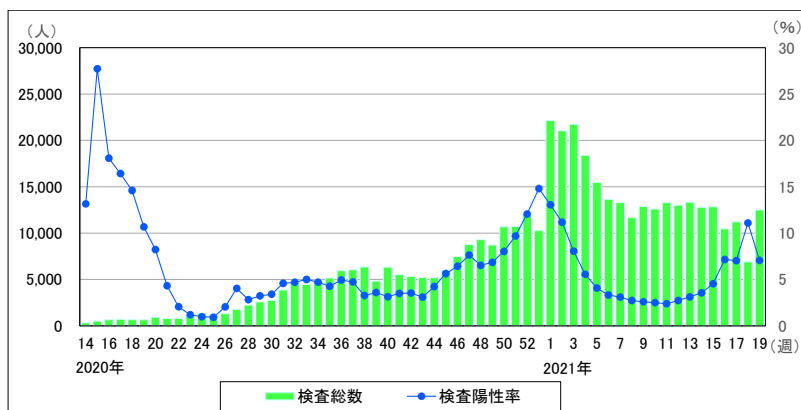
## 4 陽性確定時の症状別人数(年代別)



## 5 報告数と届出時点の症状



## 6 市内における新型コロナウイルス検査実施状況



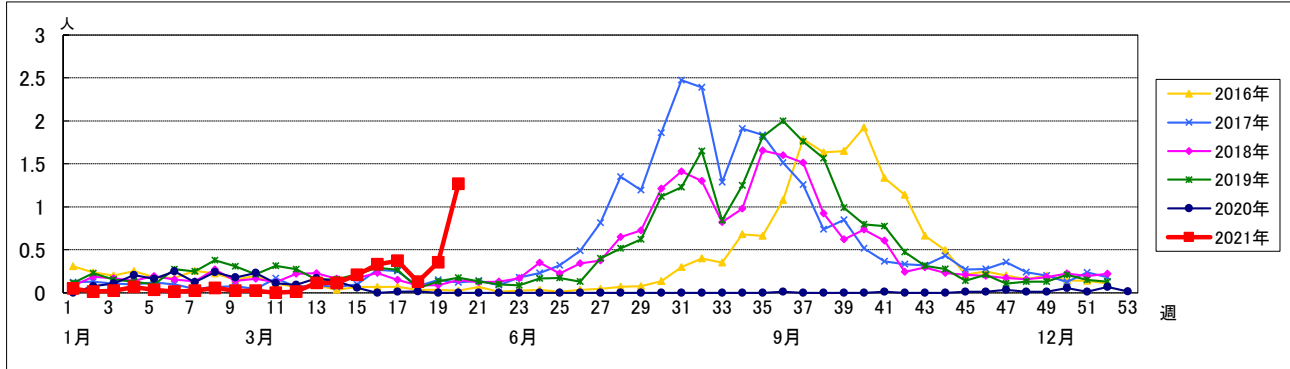
## 7 変異株の検出状況

神奈川県 新型コロナウイルス感染症による患者確認について  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/prs/r7391113.html>

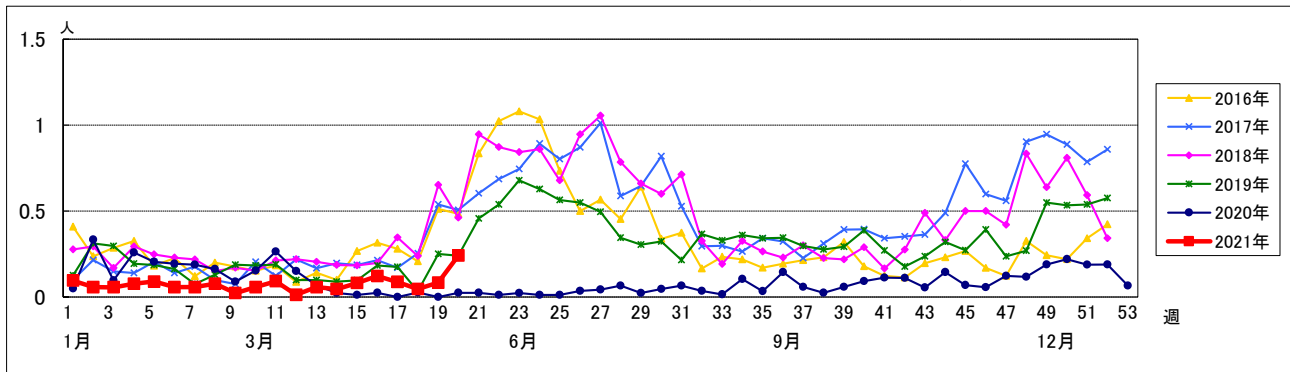
報告週対応表	
第16週	4月19日～4月25日
第17週	4月26日～5月2日
第18週	5月3日～5月9日
第19週	5月10日～5月16日
第20週	5月17日～5月23日

◇ 定点把握の対象:

1 RSウイルス感染症: 第16週は0.33、第17週は0.37と増加し、第20週は1.27でした。



2 咽頭結膜熱: 2021年は0.1未満で推移していましたが、第16週は0.12、第20週は0.24でした。



3 性感染症(4月)

性器クラミジア感染症	男性:21件	女性:13件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:4件	女性:13件
尖圭コンジローマ	男性:5件	女性:2件	淋菌感染症	男性:12件	女性:4件

4 基幹定点週報

	第16週	第17週	第18週	第19週	第20週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.66
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(4月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

5月期(2021年第16週～第20週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点38件、内科定点4件、眼科定点1件、基幹定点2件、定点外医療機関からは2件でした。

ヒトパレコウイルス1型分離1株及びライノウイルス遺伝子4件、ノロウイルスG2遺伝子1件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2021年第16週～第20週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	胃 腸 炎	発 疹 症
ライノウイルス		- 3		- 1
ヒトパレコウイルス 1型	1 -			
ノロウイルス G2			- 1	
合計	1 -	- 3	- 1	- 1

上段:ウイルス分離数

下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

5月期(2021年第16週～第20週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌2件、侵襲性肺炎球菌1件、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌1件、ブラキシピラ属菌1件、サルモネラ属菌1件、非定点から同定依頼1件の検査依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌4件、劇症型溶血性レンサ球菌1件の依頼がありました。

「分離同定」の検査依頼は医療機関からボレリアの検査依頼が2件、保健所からレジオネラ2件の検査依頼がありました。小児科定点からは溶血性レンサ球菌1件、消化器系病原菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2021年第16週～第20週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関 基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Klebsiella aerogenes</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)	
	侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> UT (1)	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	1	<i>Staphylococcus aureus</i> (1)	
	ブラキシピラ属菌	1	<i>Brachyspira pilosicoli</i> (1)	
	サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Manhattan (1)	
非定点	同定依頼(破傷風疑い)	1	<i>Clostridium septicum</i> (1)	
保健所	腸管出血性大腸菌	1	腸管出血性大腸菌O157:H7 VT1 VT2 (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (2)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (2)	
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	G群溶血性レンサ球菌 (1)	
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
医療機関 定点	全血	ボレリア	1	ライム病群ボレリア 不検出(real time PCR) (1)、 回帰熱群ボレリア 不検出(real time PCR) (1)
	痂皮	ボレリア	1	ライム病群ボレリア 不検出(real time PCR) (1)、 回帰熱群ボレリア 不検出(real time PCR) (1)
保健所	喀痰	レジオネラ	2	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2)、
小児サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	溶血性レンサ球菌	1	G群溶血性レンサ球菌 (1)	
	消化器系病原菌	1	不検出 (1)	